



アサザの苗を植える児童ら（9月1日）



アサザの種を採取した児童（9月23日）

水環境保全に取り組む 翁島小学校

翁島小学校6年生の児童16人は9月1日、猪苗代湖北岸で湖水を浄化する働きがある水生植物のアサザの苗を移植しました。同校では、年間を通して水環境保全の学習に取り組んでいます。アサザの苗の移植は毎年行っており、今年で16年目となります。猪苗代湖の自然を守る会の鬼多見賢代表や国立磐梯青少年交流の家の職員が協力しました。

今年植えた約200本の苗は、昨年度の6年生が種から育てたもので、参加した児童は、先輩から引き継いだ苗を膝上まで湖水に浸かりながら、湖底に丁寧に植えました。移植作業を指導した鬼多見さんは「アサザの移植を通じて、猪苗代湖の環境保全と景観を守ることの大切さを学んでほしい。この取り組みは、翁島小学校の伝統としてこれからも続けてほしいです」と話しました。

また、9月23日には猪苗代湖のアサザから種を採取しました。来年の移植に向けて、種からアサザを育てます。6年生の小椋花音さんは「先輩たちのように、来年にはきれいな花が咲いてほしいです」と話しました。

みんなでゴミ拾い 猪苗代養護学校

猪苗代養護学校は9月15日、志田浜の清掃活動を行いました。同校の総合的な学習の時間として、学校と地域の結びつきを深めるために実施。同校高等部の生徒ら約30人が志田浜の駐車場や砂浜に落ちていたゴミを熱心に拾いました。

生徒会長の柳沼佑璃さんは「友だちと協力してたくさんゴミを拾いました。みんなで町をきれいにしたいです」と感想を話しました。



志田浜の清掃活動を行う生徒

東北大会W出場を決める 長瀬小学校

第34回県マーチングフェスティバルは9月25日、福島市のあづま総合体育館で開かれ、長瀬小など19団体が東北大会出場を決めました。長瀬小は、小学校バンドフェスティバル部門とマーチングバンド・小学生の部の2部門に出場。両部門で東北大会出場を果たしました。全日本小学校バンドフェスティバル東北大会は10月16日に青森市で、マーチングバンド・バトントワリング東北大会は10月29日に利府市で開かれます。



息の合った演奏を披露する長瀬小学校マーチングバンド

笑顔でこんにちは



大好きなパパとママと一緒に「ハイ、チーズ」

パパの大介さんは「優しく元気な人に育ってほしいです」と話します。

筑井 さくら ちゃん

平成27年5月生まれ

～大原

大介さん・里奈さんご夫妻の長女

生後5カ月を過ぎたころ、ハイハイよりも先につかまり立ちをしたというさくらちゃん。歩き始めたのは生後9カ月という早さ。取材に伺うと、人見知りをするそぶりも見せず、部屋中を元気に走り回っていました。砂遊びや滑り台で遊ぶのが大好きなんです」とママの里奈さんは笑顔で話します。

食べ物も好き嫌いなくよく食べます。特にピーマンやオクラ、キュウリなどの緑色の野菜が大好きなんだそうです。

音楽も大好きなさくらちゃん。「試してみましようか」とパパの大介さんがカラオケをセットすると、腰をふりふり踊りながら「あー、あー」と元気に歌ってくれました。

愛嬌たっぷりのさくらちゃんは、今日も家族の主役です。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。

☎(02)2111

サークル紹介

猪苗代 天鏡太鼓 (梶 マサ子会長)



練習の見学にお越しください



磐梯まつりなどのイベントにも参加しています

一緒に和太鼓を演奏しませんか

当会は、平成8年に結成し、今年で20周年を迎えました。会の名前には、天鏡湖とも呼ばれる猪苗代湖のように、美しい音色を奏でたいという思いが込められています。また、和太鼓の演奏を通じて、礼節を重んじる心を大切にしています。

現在は、中学生から大人までの11人で活動しており、磐梯まつりや猪苗代湖ハーフマラソンなど、町内外のさまざまな行事で演奏し、イベントを盛り上げています。メンバーは心一つにして、楽しく演奏しています。毎週木曜日の午後7時から町農村環境改善センターなどで練習を行っています。

現在、一緒に楽しく演奏する会員を募集しています。どなたでも大歓迎です。お気軽にお問い合わせください。皆さんの入会をお待ちしています。

▼連絡先
会長 梶マサ子
☎080(5573)1410
※このコーナーでは、活動をPRしたい団体を募集します。希望する団体は広報担当まで問い合わせてください。

☎(02)2111